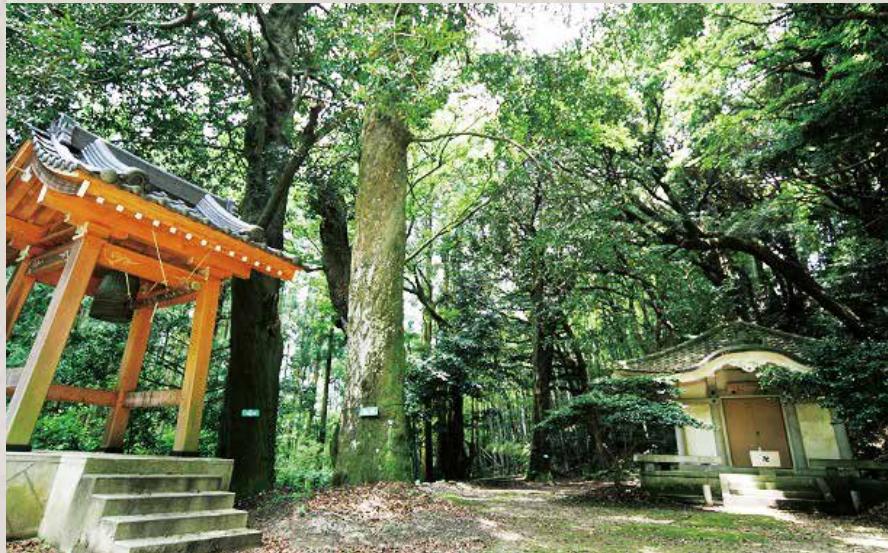


# 福津ふしきぎ発見



## 樹齢800年を超すなぎの木

市の南東部、舎利藏区に広がる自然林。ここには樹齢800年を超すなぎの木があります。今月は舎利藏自然林を紹介します。



▲古賀市との境付近に広がる舎利藏自然林

名僧行基が開いたといわれる勝宝寺跡周辺に広がる舎利藏自然林。これは、かしやしいなどの木々が陽光を遮るほどに重なり合い、森閑としたたたずまいをみせています。福津市の風景ブランドである「福津三十六景」にもなっている場所であり、「なぎ」は旧福間町の町の木でもありました。

なぎの葉は、よく見る通常の葉と違い、葉脈が網目状ではなく、縦に平行に走っています。そのため、普通の力で引きちぎることは難しいのです。このことから、なぎはきずな強さを示すものとして、災難よけのお守り代わりにする習慣があるほどだそうです。

また、舎利藏自然林は福岡県自然百選にも選ばれました。なかでも樹齢800年を超すといわれるなぎの巨木5本は、県の天然記念物にも指定されています。まるでパワースポットであるかのように、夏でもひんやりとした空気が流れています。

